

四街道すくすくこどもクリニック

ドクターズインタビュー

ともにはぐくみ、
寄り添う医療を目指す



クリニック待合室

幅広く、地域環境の育成に貢献したい

勤務医から開業医になる決意

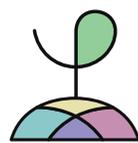
Kudo カンパニー株式会社（以下K）

この度は、独立開業誠におめでとうございます。開業初日から順調に患者様が来院され、お手伝いしました私どもも嬉しく思います。ここで改めて、先生がドクターを志したきっかけや動機を教えてくださいませんか？

眞山先生：きっかけとしては親の影響が大きいと思います。両親ともに、人の役に立ちたいという思いを強く持っている人です。私自身も、そうありたいと思って選んだと記憶しています。

注）眞山先生のお父様もドクターとしてご活躍されています。

K: では、開業を考え始めたのはいつ頃からだったのでしょうか？開業を意識されるきっかけのようなものはありましたか？



四街道
すくすくこども
クリニック

四街道すくすく
こどもクリニック
院長 眞山 義民 先生



眞山先生：医師となってから病院勤務を続け、定年まで勤め上げる気でおりました。しかし、勤務を続けていく中で、色々なことを感じ、考えるようになりました。例えば、周囲の種々の環境が人の在り方に影響すること、また環境はこうであってほしいという方向性と情熱があれば、ある程度は変化させら



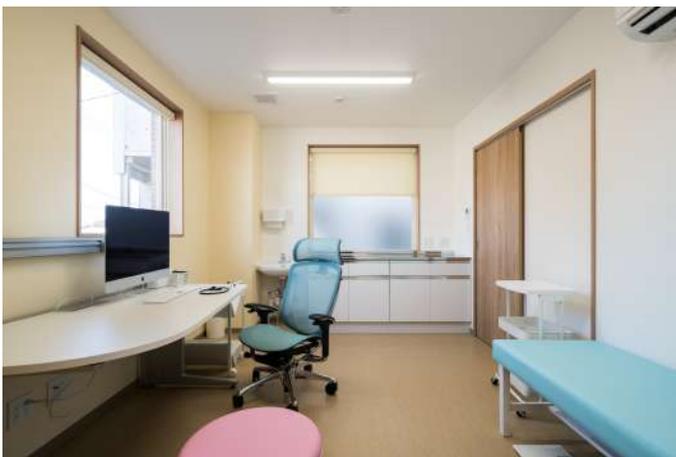
診察はネット予約としている。主に利用する保護者様の世代はネット環境に抵抗がなく、予約が取りやすいと好評だという。感染症の予防にも一役買っている

れるだろう、とかですね。医師の勤務形態は、勤務医と開業医に大別されると思います。開業医になるということは、小さい規模ですが独立事業主になり、リーダーとして組織の方向性を決める立場になれます。そうしたことを考えて、約3年前に開業を決めました。

K: かなりご検討されていたかと思いますが、開業場所を弊社プロデュースの建物（千葉県四街道市の駅前）にご決断された理由をお聞かせください。

眞山先生: 私自身四街道に住んでおり、街の雰囲気が好きなんです。そんな中、Kudo カンパニーさんの新築建物の予定を聞くご縁がありました。場所も良く、また入らせていただく際の条件や建築の実績も良かったので、最後は迷いなく決断しました。

K: ありがとうございます。私どもも眞山先生とご縁が結べ、とても幸運だったと改めて思います。その後内装プランニングをお打ち合わせする際には、玄人裸足のレイアウトを何案もいただき、とても驚きました。ご自身のクリニックへのお考えや、思い入れのある部分などをお聞かせください。



充分に外光が採り入れられる、明るく広々とした診察室。

レイアウトに込めた想い

眞山先生: 私の場合、借りさせていただく物件が決まってから、設計内装を打ち合わせる時間が1年近くありました。今思えば、とても幸運だったと思います。じっくりと検討する時間がもれたのですから。開業前に、仕事をする建物も人に大きく影響を与える環境の一部だと思い、良い環境としての設計内装のあり方を考えました。一度建ってしまうともう変えられませんから、最初の見立てが肝心です。勤務スタッフがそれぞれ働きやすく過ごしやすい、また来院されるお子さまや保護者さまが快適に感じられるようにするには、どのような形が良いのか。スペースや予算は有限ですが、やるからにはベストを尽くしたいと思い、ラフですが素人設計をしてみました。私は凝り性なのでたくさん試行錯誤を行いまして、Kudo カンパニーさんとは数多くやり取りをさせていただきました。きっとかなり面倒なクライアントだったのではないかと思います。丁寧にお付き合いいただいて、有り難かったですね。最終的に私の希望をほぼすべて実装した素敵なものに仕上げさせていただいて、とても感謝しています。



先生が描かれたレイアウトプランの一部。この後も何度も推敲され、現在の間取りとなった。先生の強い想いと方針が伺える

K: 眞山先生は、プランの当初よりご自身の方針をしっかりと持たれていましたので、だからこそ緻密なプランが考えられるのだと思います。また、「何を優先するか」のご判断がとても早かった印象があります。例えば、院内のスタッフルームを大きく採られ、独立したロッカールームまで備えていますが、私どもは、バックヤードですから少し縮められてはと進言したことがあります。しかしその場で先生は「スタッフの働きやすさや居心地が大事なので、そこは譲れない」と即答されていました。

「スタッフが気持ちよく働く職場は、必ず患者さんも気持ちよく感じます」

(眞山先生)



「先生の間取りをいかに良くするか、元が良いだけに大変でした」(Kudo)

眞山先生：院内の環境にはかなり心を配りました。職場でスタッフは仕事をしますが、直接には仕事ともいえない要素も大切にしたい、また、仕事と非仕事とをはっきり区別するのは良くない面もあるのではないかと、思っています。私は料理を作ることが好きで、時間が許せば時々スタッフルームに備え付けてあるキッチンで料理を作りますが、スタッフの皆さんにも作っていただいています。作りたての料理、また野菜やスープなどヘルシーなものを食せることは好評ですね。生活習慣病予防、コミュニケーション促進、ストレス緩和など複合的に役立ちます。また、当院ではハウスキーピング能力があること、ないしはその気があることは採用条件かもしれません。セルフマネジメントがある程度できていれば、治療内容以外にも非言語的な形で患者さん達に良いメッセージが届けられるのではないかと、思っています。

K: 病院のお勤めをされながらの開業準備は、さぞお忙しかったかと思えます。その中でも特に印象深かったことを教えていただけますか。



クリニックは駅前ビルの2階にあり、エントランス横にはインターホンが備わる。感染症やインフルエンザの疑いがある患者さまは、別に設けられた入口より直接隔離された待合室に入ることができる



建物1Fのエントランスホールには、小児科のある2Fのみのエレベーターがある。Kudoカンパニープロデュースだからこそ実現した特徴

眞山先生：一番印象に残っているのは、開業直前の1か月ですね。その前までは比較的ゆったりと検討できたのですが、行政への登録書類の提出や、協力業者との調整・契約、スタッフとの打ち合わせなど色々なことが集中し、本当に大変でした。

K: 内装工事の着工前に、新型コロナの影響で混乱がおきたことで、先生もご関係者さまも大変だったかと思えます。開業時期の延期も検討されていましたが、強いご意思をもってご開業されました。いまだ予断を許せない状況が続いていますが、感染症への姿勢や心構えがあればお聞かせください。

眞山先生：新型コロナウイルス感染症は、大災害のようなものだと思います。当院は保険医療を担う立場ですので、小児科クリニックとして可能な対応をしていきます。感染症に限定しない話になりますが、必要とされているものを見出し、それを提供できるシステムを整備し、適切な形で提供する。これがどの業種でも必要とされることだと思っています。それを続けていきたいと思っています。

K: 仕上がったクリニックの印象はいかがですか。気に入っている部分や、使ってみて良かったところがあれば教えていただけますか。

眞山先生：申し分ないです。設計から細部にわたって、色々とおまかせを聞いていただいて、良く仕上げられていて感謝しています。

開業後の展望は医療に限らない

K: ありがとうございます。内装もサイン表記も親しみやすさがありながら、スッキリシンプルな印象になりましたね。

眞山先生：色々なものがごちゃごちゃとあればあるほど、人の頭の中ではより多くの情報処理が自動的になされるものだと思います。多すぎると情報処理は過剰となり、感受性が鈍麻したり、ストレスの一因となったりするのではないのでしょうか。柔らかい印象でスッキリシンプルにすると、結果としてスタッフが患者さんの対応に集中できたり、患者さんが落ち着いたり、良い効果があると考えています。ただし、殺風景に感じてしまうレベルになると不安感を助長してしまうかもしれず、適度な範囲はありますね。



落ち着きとゆとりがある診察室。
壁面の絵は定期的にかき替えられる



弊社プロモーターとの2ショット。

K: クリニックが入っている建物（J.H ビル）は、計画の早い段階で眞山先生のクリニックが入ることを想定し、感染症対策にエレベータを階層ごとに分けるなど工夫を凝らしています。建物自体の印象はいかがですか。

眞山先生：Kudo カンパニーさんの建物は、独特なスタイルがありますね。装飾はきれいですし、風格やゆとりが感じられて素敵だと思います。当院は小児科クリニックですので、感染症があるお子さまもいらっしゃると思います。2階にある当院専用のエレベーターを設置していただけたのは、とてもありがたかったです。

K: 実際にエレベーターを複数設ける計画は、感染症が世間で騒がれる前に始まったのですが、今となっては有効な対策になっていると思います。

新しい環境でスタートされた今、改めて先生の思う理想の医療や、お考えの方針をお聞かせください。

眞山先生：理想なんて御大層なものではないですが、良い環境を作っていきたいと思っています。職場環境もそうですが、人の関係性、地域環境などですね。必ずしも医療に限定せず、広い視野で貢献できれば良いなと思っています。

おわりに

眞山先生は、常日頃より職場の環境や良い雰囲気づくりをととても大事にされており、医療に限らずたくさんの方に目を向けられていました。このインタビューで、先生のお人柄が伝われば幸いです。眞山先生、ご多忙の中インタビューにご協力頂きありがとうございます。貴院の益々のご盛業を心よりお祈りいたします。